

●6年制学科のカリキュラムの特色

薬学教育をリードする昭和大学では、オリジナル教育プログラムで次代に求められる「チーム医療に強い臨床薬剤師」を育てます。

昭和大学の大きな特色として1年次全寮制があり、山梨県の富士吉田キャンパスで4学部が学部混合の4人部屋で1年間共に生活します。医療人を目指す4学部の仲間と共に暮らし、学ぶことにより、将来の医療を担う仲間とキャンパスライフを楽しみながら絆を深め、「チーム医療」の根幹を身に付けることが可能です。

2年次からは薬学力を培い、4学部連携アクティブラーニングや大学附属病院・保険薬局で行う本学独自の臨床実習でチーム医療の中での薬剤師の役割を理解し、実践力を修得します。4年次1月からの「臨床薬学実習・研究カリキュラム」では8つの本学附属病院での実習を含むカリキュラムで、臨床薬剤師としての実践力を身につけます。5年次の「学部連携病棟実習」では、附属病院の病棟で、4学部混合の学生チームが一人の患者を担当し、各自が収集した情報を基に、チームで担当患者の治療・ケアについて討議・提案します。また、治療・ケアを見学・体験することにより多職種への役割について理解を深めます。卒業後も大学院、臨床薬剤師研修制度、薬剤師生涯研修プログラムなどで成長をサポートし続けます。

●病院や薬局の実務実習 特色や取り組み

4年次1月から5年次にかけて、28週におよぶ臨床実習があります。そのうち8つの本学附属病院で行う17週間の病院実習では、100名を超える臨床教員薬剤師と医療チームの医師や看護師らの指導のもとで、臨床薬剤師としての実践力を着実に身につけていくことができます。

病棟でスチューデントファーマシストとして特定の患者さんを受け持ち（患者担当制）、医療チームに加わり、治療計画を立て、患者さんへの薬物治療を参加・実践型形式（クリニカル・クラークシップ）で学びます。

また、精神科の専門病院である昭和大学附属烏山病院における精神医療実習を全学生必修で行っていることも本学の特色です。

●病院実習先・薬局実習先

昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学江東豊洲病院、昭和大学附属烏山病院、昭和大学歯科病院 8カ所

アイン薬局、そうごう薬局、アイセイ

薬局、ウエルシア薬局、スギ薬局

※調整機構により実習先を確保 約160カ所

●アドバンスト(臨床)実習

第4学年の希望者に対して選考を行い、第5学年時に、学部間協定校（オルバーニヤ州立大学(アメリカ)、マハサラカム大学(タイ)、台北医学大学(台湾))を訪問し、大学・病院・薬局などの見学、研究室活動への参加、英語による研究・調査課題、英語によるプレゼンテーションに取り組むことで、海外の薬剤師の役割を知ることができる海外実習・研修プログラムを行っています。また、日本（本学）と海外協定校とのオンラインジョイントセミナーで英語によるプレゼンテーションの機会があります。

●多職種連携教育の具体的な内容

医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部の教員および附属病院が密に連携して昭和大学独自の「チーム医療」プログラムを構築しています。初年次体験実習では医療人のマインド、職種の役割、チーム医療の根幹などを学び、PBLチュートリアルでは臨床シナリオをもとに各職種の立場から症例を検討し、患者さんが抱える課題を解決に導きます。さらに高学年次での病棟実習では附属病院にて、学部混合チームで実際に患者さんを担当し、ベッドサイドで治療プランを深く検討します。

また、近年注目される「地域医療」もカリキュラムに組み込み、地域の医療機関、薬局等と連携した学部連携地域医療実習を行っています。

こうした全学年にわたる体系的かつ段階的な学部連携カリキュラムは、昭和大学の特長であり、次代のニーズに対応できる実践的なチーム医療人を育成しています。

●多職種連携教育を行う医療施設名

昭和大学の各附属病医院（昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学江東豊洲病院）

●薬剤師国家試験への取り組み

ディプロマ・ポリシーと一体的に策定したカリキュラム・ポリシーに基づいた教育課程を編成しています。また、薬剤師国家試験に合格できる学力を担保するための進級基準と卒業基準を設定し、第108回薬剤師国家試験では新卒合格率95.18%を達成しました。

●卒業研究について

卒業研究カリキュラムの改革に取り組み、臨床薬剤師育成プログラムの一環として大学附属病院での臨床研究を

強化しています。薬学研究実践プログラムでは本学附属病院の臨床薬剤師を含む100名を超える臨床系教員が指導を担当します。医系総合大学の昭和大学でできない臨床研究を通じて、臨床での問題発見・解決能力を身につけます。

●入試の変更点

回答なし

●入試に合格するためのアドバイス

本学では「至誠一貫」の建学の精神のもと、他者を理解し、思いやりの心を持つ人、知的好奇心にあふれ、新しい分野に積極的に挑戦できる人など意欲を持った学生を求めています。そのため、全入試区分において、面接試験を受験者全員に対して実施し、薬剤師となる明確な目的意識や本学に対する明確な志望動機を有しているかなどを評価します。雄弁である必要はありませんが、ある程度のコミュニケーション能力は問われます。学力試験は、英語および化学が必須で、数学もしくは国語が選択科目です。問題数が多いので、解答する速度はある程度必要です。また、試験範囲全体から問題が作成されるので、分野を問わず、基本的な問題をまんべんなく学習する方が良いと思います。

●過去問を公開しておられますか

昭和大学受験生サイトにて公開
<https://adm.showa-u.ac.jp/admission>

●面接や小論文について教えてください

ホームページにてご確認ください。
(7月下旬～8月公表予定)

●大学独自の奨学金制度

ホームページにてご確認ください。
(7月上旬頃公表予定)

●地域のアパート・マンションのモデル家賃

回答なし

●オープンキャンパスの日程

・薬学部オープンキャンパス
2023年7月2日
・薬学部総合型選抜入試説明会・オープンキャンパス
2023年8月5日
・薬学部スプリングオープンキャンパス
2024年3月24日